

2020年に向けた文化イベント等の在り方検討会 (第1回用 資料)



一般財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

2014.12.17

1. 大会ビジョンについて

1. アスリートからの視点	それぞれが自己ベストの記録を達成できるような大会運営	オリンピック及びパラリンピック精神の浸透	大会後のスポーツ振興や健康志向の向上につなげる
2. 東京・日本・世界からの視点	大会運営に世界トップレベルの技術を展開	和をもって尊しとなす等の日本的価値観の発信	文化・伝統を未来に引き継ぐ
3. みんなからの視点	みんなが創意工夫をこらしたおもてなし	各個人のアイデアを活かして全体をコーディネート	あの興奮をもう一度 (1964年世代から2020年世代へ)

各視点に共通する3つの基本コンセプト

全員が自己ベスト

多様性と調和

未来への継承

TOKYO 2020 ビジョン骨子

スポーツには、世界と未来を変える力がある。1964年、日本は変わった。2020年、世界を変えよう。

(1) すべての人が自己ベストを目指そう。 (2) 一人ひとりが互いを認め合おう。 (3) そして、未来につなげよう。

2. オリンピック・パラリンピックの広がり

分野的な広がり

- ✓ スポーツ
- ✓ 文化
- ✓ 教育
- ✓ テクノロジー など

オリンピック・パラリンピック競技大会

- ✓ 国際スポーツの大会
- ✓ 2020年7月～8月
- ✓ 東京での開催

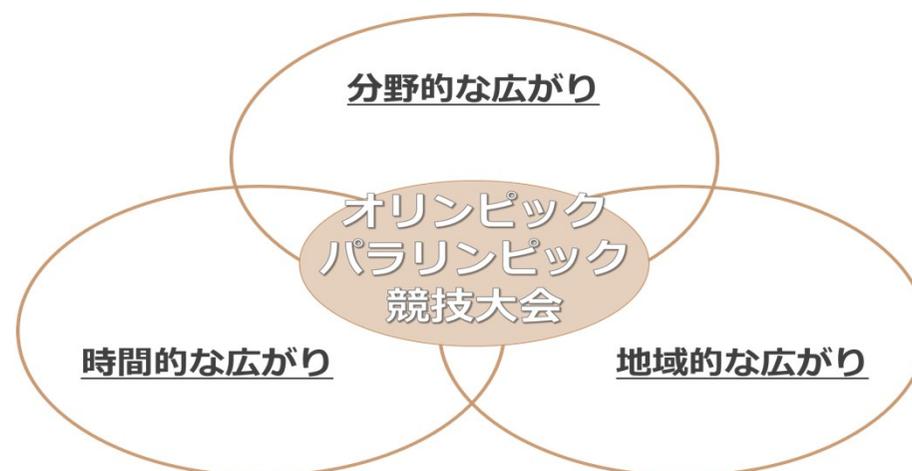
時間的な広がり

- ✓ 大会準備期間
- ✓ 大会期間中
- ✓ 2020年以降のレガシー

地域的な広がり

- ✓ 東京
- ✓ 日本全体
- ✓ アジア・世界

3 . 広がりのある取組を検討するための“5本の柱”



広がりのある取組を“5本の柱”で検討

スポーツと健康

文化・教育

復興・オールジャパン
・世界に向けた発信

街づくりと
サステナビリティ

経済・テクノロジー